

③〇二級河川芦田川 河川改修事業（二層河川区間の完成）

受賞機関 大阪府 鳳土木事務所

キーワード 水害対策、二層河川方式、親水、住民協働

全建賞審査委員会の評価ポイント

大阪府南部の住宅密集地を貫流する芦田川での度重なる浸水被害の対策として、二層河川方式を用いて河川改修を実施した事業。地域への影響を最小限にとどめ、親水性を高めるために二層河川方式を採用した点や、事業実施にあたってワークショップ等を通じて地域住民との対話を重ね、地域に親しまれる河川整備を実施した点、さらにこれらにより良好な景観形成を実現している点が評価された。

1. はじめに

芦田川は、大阪府和泉市に源を発し、高石市の河口（浜寺水路）に至る流域面積6.68km²、流路延長5.1km（うち法指定2.8km）、川幅約5mの小さな二級河川である。

芦田川流域は、産業・経済の発展に伴い急激な都市化が進み、流域の70%が市街化され、治水機能の向上が急務となっていた。

2. 事業の概要

芦田川沿いは住宅密集地であることから、用地買収にかかるコスト縮減や事業期間の短縮に加え、住環境の改善を図る目的で、「安全で親しみやすい川づくり」とともに、川沿いの桜並木をはじめ、景観にも配慮した「みどり豊かな水辺空間づくり」などを整備基本方針とする『芦田川ふるさとの川整備計画』を府市共同で策定した。

河道改修は用地買収を極力軽減するとともに、親水性が確保できる手法として、全国的にも数少ない二層河川方式の採用及び、流域調節池など芦田川本川への洪水調節施設を含めた100年確率での総合的な治水対策を実施した。

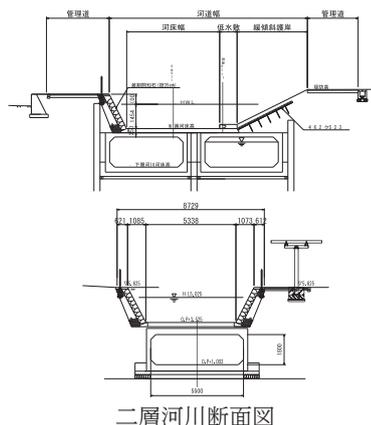


芦田川（下流部親水広場）

3. 事業の成果

本事業は、地域への影響を最小限にとどめ、親水性を高めるため二層河川方式を採用するとともに、景観に配慮し、地域に親しまれる河川整備を実施した。

工事は、早期に治水効果を上げるため、通年施工を実施した。二連ボックス区間ではそれぞれのボックスの流下能力を現況流下能力とすることで、仮水路断面としての能力を確保するなど、計画段階から詳細な仮設計画が検討されていた。また、一連ボックス区間においても、並行する現況府道内に河川を迂回するなど、地下埋設事業者及び道路管理者など関係機関との協議を密にすることで、大規模な仮設が可能となった。



二層河川断面図



芦田川（ふるさと広場）

4. おわりに

芦田川は水害が頻発する改修事業として、大阪府の役割である治水機能の確保については完了した。また、高石市が実施する公園整備が平成30年6月末完了した。今後は、地域住民に安全で親しみやすい川でかつ、みどり豊かな水辺空間として、愛されることを期待する。

賛助会員 (株)ニュージェック、パシフィックコンサルタンツ(株)